

製造段階での品質低減活動：セルフチェック

* 1 レベル判定欄に最も該当すると思われるものに○印を記入して下さい。

* 2 あなたの企業又は部署において重要度が大きいと思われるものに「重要度大」欄に○印を記入して下さい。

作成日

作成者

分類	No.	チェック項目	レベル判定			重要度大
			非常に良い	良い	要改善	
A 不良低減への取り組み	1	品質不良低減をトップ方針に取り入れているか				
	2	具体的な不良低減目標・計画に展開しているか／データの分析等ツールを使い重点管理しているか				
	3	計画には具体的な施策を明確にしているか／方策管理・プロセス管理があるか				
	4	計画に必要な資源を与えているか／担当者設定・予算設定				
	5	管理者・担当者間のフォローを、月1回以上行っているか／情報のキャッチボール				
	6	フォローで目標未達るとき、原因の分析が議論されているか／課題は明確になり行動計画はあるか				
	7	経営者が半期に1回以上フォローし指示しているか				
	8	指示結果を実行しトップに報告しているか				
	9	前年度の結果を分析し次年度方針に展開しているか				
	10	以上のような活動となる仕組みができているか				
B 技術の確立	1	品質に影響の強い技術を明確にしているか				
	2	重点的に維持改善すべき技術を明確にしているか				
	3	重点技術の管理方法・条件(水準)を明確にしているか				
	4	重点技術の実施結果を監視しているか				
	5	重点技術の改善・新技術の開発活動を行っているか				
	6	品質管理技術と品質不良・削減のための純粋技術(原理・原則)の使い分けができているか				
	7	突発不良(管理不十分に起因)と慢性不良(技術的に未解決)の区別ができているか				
	8	不良現象を3現主義(現場・現物・現実)で捉まえ、物理現象として整理できているか				
	9	ヒューマンエラーに起因する品質不良が明確になっているか				
	10	技術の未確立に起因する品質不良が減っているか				
C 標準化仕組みの確立	1	標準化が技術標準から作業標準まで体系的に行われているか				
	2	重点技術の技術標準は、なぜそうするのかを明確にしているか／原理・原則により標準化されているか				
	3	重要製品について、QC工程表が作成されているか				
	4	QC工程表では、要因・結果系管理項目・水準、サンプリングなどを明確にしているか				
	5	QC工程表では、記録法・関連標準・過去のトラブルなどが明確にしているか				
	6	QC工程表を、プロセスの弱点発見/改善に活用しているか				
	7	技術標準／作業標準／QC工程表の使い分けができているか				
	8	変更管理の仕組みがあり、意識して運用されているか(標準書等文書上の変更と行動面の変更管理)				
	9	改善事項を標準変更・見直しのために取り入れる仕組み・機会の設定ができているか				
	10	仕組みに起因する品質不良が減っているか				
D 実行：人	1	従業員に対する教育訓練を体系的に(目標レベル)行っているか				
	2	従業員に対する教育訓練を計画的に(フォローまで)行っているか				
	3	個々の従業員が、力量をあげる意欲をもっているか				
	4	個々の従業員の力量が、年々向上しているか				
	5	個々の従業員が仕事の結果に関心・改善意欲をもっているか				
	6	QCサークル活動の質が高いか(仕事の質向上+成果)				
	7	幹部がQCサークルに関心をもち頻繁に励ましているか				
	8	品質不良低減等成果・パフォーマンスを実現するためのコーチングが行われているか				
	9	人やる気にさせる仕組み・仕掛けがあるか				
	10	人に起因する品質不良が減っているか				
E 実行：設備・金	1	設備保全の目的、品質への効果を理解し推進・支援しているか				
	2	設備保全を体系的・計画的に行っているか(自主保全/計画保全)				
	3	全員が設備に関心をもって参加しているか				
	4	設備保全を品質不良防止の意識で実施し/させているか				
	5	品質不良をコスト・金銭的価値に置き換えているか				
	6	1単位の不良(1g、1個など)が何円のコスト又は利益に還元されるかの意識があるか				
	7	品質予算、設備予算などの予算管理ができているか、それは金額評価されているか				
	8	品質不良低減のための設備投資金額が評価されているか／設備投資貢献度評価				
	9	設備の保全不足に起因する品質不良が減っているか				
	10	品質不良低減に伴うコスト低減、利益増加が実現しているか				
F 実行：基本	1	5Sの目的、品質への効果を理解し推進・支援しているか				
	2	5Sを体系的・計画的に行っているか(直線/直角/置場/目で見える化など)				
	3	全員が5Sに関心をもち自主的に参加しているか				
	4	規律のある職場(決めごとを守る、自主性がある)になっているか				
	5	5Sの不徹底に起因する品質不良が減っているか				
	6	標準どおりに製造しているか				
	7	標準どおりに検査しているか				
	8	標準どおりに識別・不適合管理しているか				
	9	標準が必ず守られていると自信を持って宣言できるか／守られるような仕掛けがあるか(目で見える管理)				
	10	標準を守らないことに起因する不良が発生していないか				
G 問題解決力改善力	1	よい品質の事実・データを、効率よく収集しているか／その仕組みがあるか				
	2	データから、必要な情報を効率よくとりだしているか／その仕組みがあるか				
	3	QC手法を適切に使って解析しているか				
	4	なぜ、なぜを繰り返して、真の原因まで追究しているか				
	5	品質不良の再発が減り、予防できているか				
	6	重要問題について監視/解析しているか				
	7	問題解析の結果、問題点を早期に顕在化させているか				
	8	問題の解析と結果を報告/議論する場ができているか				
	9	問題の解析と改善結果を、ライブラリとし活用しているか				
	10	技術・仕組みの改善・改革が進んでいるか				